

PHP 深刻な脆弱性に対する対策 2026.10.24 (赤字は AI への問合せ)

WordPress 公式版の最新バージョンは？

WordPress の最新安定バージョンは、2026 年 10 月 6 日にリリースされた「WordPress 7.1.3」です。

このバージョンはセキュリティおよびメンテナンスのためのアップデートであり、7 件のセキュリティ修正と 4 件の不具合修正が含まれています。安全なサイト運営のために、早めのアップデートが推奨されます。

💡 アップデート時の注意点

-
- **バックアップの作成：** 万が一の不具合に備え、作業前に必ずデータベースとファイルのバックアップを取ってください。
- **プラグイン・テーマの確認：** お使いのテーマやプラグインが最新バージョンに対応しているか確認してから本体を更新してください。
- **PHP の脆弱性 (重要)：** 2026 年 10 月に PHP 本体の深刻な脆弱性が公表されています。WordPress を最新にしても PHP 自体の脆弱性は直らないため、サーバー側の PHP バージョン (推奨環境: 8.3 以上、各マイナーバージョンの修正版) もあわせて確認・更新することをおすすめします。

詳細なリリース情報や過去の履歴は、[WordPress.org 日本語公式サイトのリリースアーカイブ](#)からご確認いただけます。

お使いのサイトを安全にアップデートするために、以下の点でお手伝いできることはありますか？

- 現在のサイトのバージョンの確認手順を知りたい
- 安全に更新するためのバックアップの手順を知りたい
- PHP バージョンの確認や切り替え方法を知りたい

AI は不正確な情報を表示することがあるため、生成された回答を再確認するようにしてください

外観に 2015 年来、テーマの「TwentyTen」を使っています。この外観を維持したまま、最新バージョンにアップデートできますか？

結論から申し上げますと、「Twenty Ten」の外観 (デザインやレイアウト) を維持したまま、WordPress を最新バージョンにアップデートすることは可能です。

WordPress 公式のデフォルトテーマである「Twenty Ten」は、リリースから 15 年以上が経過し現

在も公式コミュニティによるメンテナンスが継続して行われており、最新バージョンへの互換性が保たれています。

ただし、2015 年から長年そのまま運用されているサイトの場合、「維持したまま更新できるか」を左右する重要な注意点が 3 つあります。以下のポイントを必ず確認してから作業を進めてください。

⚠️ アップデート前に必ず確認すべき 3 つの注意点

1. テーマのコードを「直接」カスタマイズしていないか(最重要)

2015 年以降、もし制作会社やご自身で `twentyten` フォルダ内のファイル (`style.css` や `sidebar.php` など) を直接書き換えてデザインを変更していた場合、テーマを最新版に更新した瞬間にそのカスタマイズがすべて消え、初期デザインに戻ってしまいます。

- **対策:** アップデート前に、現在のテーマフォルダ (`wp-content/themes/twentyten`) のバックアップをパソコンに必ず保存してください。もし直接書き換えていた場合は、本体更新後にデザインを維持するために「子テーマ」化するか、修正コードを退避させる必要があります。

2. プラグインの互換性

外観自体は Twenty Ten で維持できても、サイト内で使っている 10 年近く前の古いプラグインが最新の WordPress (バージョン 7 以上) に対応できず、画面が真っ白になったり、レイアウトが崩れたりするリスクがあります。

- **対策:** 使っていないプラグインは削除し、残すものは事前にすべて最新版にアップデートしておきます。

3. PHP バージョンの壁

WordPress の最新バージョンは、サーバーのプログラムである「PHP」の古いバージョン (PHP 7.3 以下など) のサポートを打ち切っています。2015 年来の環境のままだと、サーバー側の PHP が古すぎて WordPress の更新自体がエラーになるか、逆に PHP だけを最新にすると Twenty Ten 側の古い記述がエラー (致命的なエラー) を起こす可能性があります。

20i

🔧 安全にアップデートするための推奨手順

外観を確実に維持するため、一気に本番サイトを更新せず、以下の手順を踏むことを強くおすすめします。

ステップ	作業内容	目的・ポイント
1. 完全バックアップ	データベースと全ファイルを保存	万が一トラブルが起きても、2015 年の状態に 100% 戻せるようにするため。
2. テスト環境での検証	本番サイトを複製し Local などの無料ツールを使い、自分のパソコン上で似た環境を作る	新版へのアップデートを試す。ここで外観が崩れないか、エラーが出ないかをノーリスクで確認できます。

3. テーマとプラグインの更新 まずテーマとプラグ「Twenty Ten」を現在配信されている最新版(バージョンインを最新にする 4.7 以降)に更新します。

4. WP 本体と PHP の更新 WordPress 本体 テスト環境で問題がなければ、本番サイトで同様にアップ
→ PHP の順に更 デートを行います。
新

長年大切に育ててこられたサイトですので、まずは**現状のバックアップ**を**取る**ことから始めてみてください。

安全に作業を進めるために、まずは以下の点を確認させていただきますか？

- 「Twenty Ten」のデザインは、過去にコードを書き換えるなどの**独自のカスタマイズ**をされていますか？(それとも、WordPress の標準機能の範囲内での運用ですか？)
- お使いのレンタルサーバーに、ボタン一つでテスト環境を作れる「**ステージング(テスト)環境機能**」は備わっていますか？
- 現在の PHP のバージョンはご存知でしょうか？

状況に合わせて、最もリスクの低い具体的な手順をご案内します。

今現在、使っている PHP のバージョンをどうやって調べられますか？

現在お使いの PHP バージョンは、WordPress の管理画面(ダッシュボード)から、最も簡単かつ安全に確認できます。

コマンドや特別なツールは必要ありません。

以下の手順に沿って画面を開いてみてください。

WordPress 管理画面での確認手順

1. WordPress の管理画面にログインします。
2. 左側の黒いメニューにある「ツール」にマウスを合わせ、「**サイトヘルス**」をクリックします。
3. 画面上部にある「**情報**」タブをクリックします。
4. 並んでいる項目の中から「**サーバー**」というブロックを見つけてクリック(展開)します。
5. 上から数行目にある「**PHP バージョン**」の横に書かれている数字を確認します。

バージョン番号の「見方」と重要なチェック(2026 年 10 月の脆弱性対策)

表示された数字(例: 8.3.36 や 7.4.33 など)を確認したら、特に**末尾の細かい数字**まで注目してください。

現在、PHP 自体の重大な脆弱性が公表されているため、最新の「**修正済みバージョン**」になっているかが非常に重要です。

- PHP 8.3 系 の場合: 8.3.36 以降であれば安全です。もし 8.3.35 以前の場合は、サーバー側での更新が必要です。
- PHP 8.2 系 の場合: 8.2.35 以降であれば安全です。
- PHP 7.4 系 以下の古いバージョンの場合(例: 7.4.xx や 7.3.xx):
すでに公式のサポート自体が完全に終了しているため、今回の重大な脆弱性の修正パッチが原則として配信されません。もしこれらが表示された場合は、早急にセキュリティ対策および PHP 8.3 以上への移行計画を立てる必要があります。

まずは上記の手順で、現在の正確な数字(例: 8.2.20 など)を控えてみてください。

サイトヘルス画面で「PHP バージョン」の数字 は確認できましたでしょうか？
もしよろしければ、表示された正確な数字を教えてください。

- そのバージョンが今すぐ危険な状態にあるかどうか
 - 「Twenty Ten」を維持したままアップデートする際の具体的なリスクの有無
- を詳しくお調べしてお伝えいたします。

PHP に重大な脆弱性。WordPress サイトで今すぐ確認したい ...

2026/10/23 - PHP 8.1 以前は、PHP プロジェクトによる通常のセキュリティサポートが終了しています。

WordPress サイトで PHP バージョンを確認する方法

今回は WordPress サイトでの PHP バージョンを確認する方法を説明したいと思います。



メニューの「ツール」には、利用可能なツールとインポート、エクスポートの3つしかありませんが

ご不便をおかけして申し訳ありません。「ツール」の中に「サイトヘルス」が見当たらないのですね。

「サイトヘルス」という機能は WordPress 5.2(2019 年リリース)から追加された機能です。現在お使いの WordPress が 2019 年よりも前の非常に古いバージョン(バージョン 5.1 以下)である場合、そのメニューは表示されません。2015 年から大切に運用されているとのことですので、その可能性がとても高いです。

WordPress の画面から確認できない場合は、「レンタルサーバーの管理画面」から確認するのが一番確実で安全です。

お手数ですが、現在サイトを契約されているレンタルサーバー（例：エックスサーバー、さくらのレンタルサーバ、ロリポップ！、お名前.com など）の管理画面にログインして、以下の場所を確認してみてください。

主なレンタルサーバーでの確認場所

- **エックスサーバー**
「サーバーパネル」にログイン → 「PHP」ブロックにある「PHP バージョン切り替え」をクリックすると、現在のバージョンが表示されます。
- **ロリポップ！**
「ユーザー専用ページ」にログイン → 左メニューの「サーバーの管理・設定」 → 「PHP 設定」をクリックすると、ドメインごとのバージョンが表示されます。
- **さくらのレンタルサーバ**
「コントロールパネル」にログイン → 左メニューの「Web サイト/ドメイン」 → 「PHP のバージョン設定」をクリックすると確認できます。

💡 もしサーバーの画面を見るのが難しい場合の「別の確認方法」

サーバーのログイン情報が手元にない場合は、少々専門的になりますが、以下の方法でも確認できます。

- **プラグインを入れる：**WordPress の「プラグイン」→「新規追加」から「Display PHP Version」というプラグインを検索してインストール・有効化すると、管理画面の「ダッシュボード」の一番下に現在の PHP バージョンが表示されるようになります。

まずは、お使いのレンタルサーバーがどちらの会社か分かれば、より詳しい画面の進み方をご案内できます。

現在サイトを置いているレンタルサーバー会社名（エックスサーバー、ロリポップなど）はお分かりになりますでしょうか？

もし分かれば、そのサーバーでの**正確な確認手順**と、古い WordPress (5.1 以下) から最新の 7.1.3 へ**安全にジャンプアップするための注意点**をご案内いたします。

WordPress と PHP のバージョンはそれぞれ異なるのではないのでしょうか？

仰る通りです。混乱させてしまい申し訳ありません。WordPress のバージョンと PHP のバージョンは、全く別のシステム(プログラム)です。

これらはスマートフォンの「アプリ」と「OS」のような関係にあります。

- **WordPress (アプリに相当)：** ホームページのデザインやブログの記事を管理するためのシステム(ソフトウェア)です。
- **PHP (OS に相当)：** WordPress を動かすために必要な、サーバー側で動く**プログラミング言語**(土台の環境)です。

今回、WordPress の「ツール」の中に「サイトヘルス」が表示されなかった理由は、土台である PHP ではなく、WordPress (システム) 側のバージョンが古い(2019 年のバージョン 5.1 以下である)ためです。

⚠ なぜ、両方のバージョンを知る必要があるのか？

古い WordPress (アプリ) を最新の「7.1.3」にアップデートするためには、土台である PHP (OS) も最新の WordPress が求めるバージョン (推奨: PHP 8.3 以上) に合わせる必要があります。

しかし、2015 年当時の古い PHP 環境のまま WordPress だけを最新にしたり、逆に古い WordPress のまま PHP だけを最新にしたりすると、**アプリと OS の互換性が崩れてサイトが真っ白に壊れてしまう原因**になります。

そのため、外観 (Twenty Ten) を維持したまま安全にアップデートを行うには、現在の「WordPress のバージョン」と「PHP のバージョン」の両方を、事前に別々に把握しておくことがとても重要になります。

🔧 今の「WordPress のバージョン」を調べる方法

「サイトヘルス」が使えない場合、現在の WordPress のバージョンは以下の場所を確認できます。

- **管理画面の右下**: 管理画面のどのページでも、一番右下に小さく「WordPress 4.x.x」や「バージョン 5.0」などと表示されています。
- **ダッシュボードの「概要」**: 管理画面の「ダッシュボード」→「ホーム」を開くと、「概要」という四角い枠の中に「WordPress X.X 実行中」と書かれています。

まずは、この右下などに書かれている「WordPress のバージョン」がいくつになっているか、教えていただけますでしょうか？

まずは現在の **WordPress のバージョン** (例: 4.9 や 5.0 など) が分かれば、そこから最新の 7.1.3 へ安全にアップデートするための、具体的なステップ (段階的な更新が必要かなど) を組み立てることができます。お手数ですが、画面の右下などを一度ご確認くださいませか？

契約しているサーバーでの PHP バージョンは 7.0.33 でした。サーバーで推奨するバージョンは最新の 8.5.12 と表示がありました

お調べいただきありがとうございます。現在の環境が「PHP 7.0.33」であることが分かり、これで安全なアップデートへの具体的な道筋が見えてきました。

非常に重要な確認ができましたので、現在の状況と、サーバーが推奨する「PHP 8.5.12」ととの関係、そして今後の注意点を整理します。

📊 現在の状況と問題点

現在、お使いの環境は以下のような状態にあると推測されます。

- **PHP のバージョン**: 7.0.33 (2018 年末に公式サポートが終了している古いバージョンです)
- **WordPress のバージョン**: おそらく 4.7 ~ 5.1 付近 (管理画面にサイトヘルスがないため)

サーバーが推奨している「PHP 8.5.12」は現時点で最新の非常に安全な環境ですが、今すぐサーバーの画面で「7.0.33」から「8.5.12」へ切り替えるボタンを押すのは、絶対に避けてください。

古い WordPress とテーマ (2015 年当時の状態) のまま、土台である PHP だけを最新の「8.5.12」に一気に跳ね上げると、プログラムの書き方が違いすぎるため、**確実にサイトが真っ白になり、管理画面にもログインできなくなります。**

🔧 「Twenty Ten」を維持して安全に最新化するロードマップ

外観 (Twenty Ten) とデータを守るためには、サーバーの PHP を切り替える前に、WordPress (システム) とテーマを先にアップデートする、あるいは段階的に進める必要があります。安全な移行手順は以下の通りです。

ステップ 1: 現在のテーマ (Twenty Ten) のバックアップ

もし過去にデザインのコードを直接書き換えていた場合、テーマを更新すると消えてしまいます。念のため、サーバーの「ファイルマネージャー」や FTP ソフトを使い、`wp-content/themes/twentyten` フォルダをパソコンにダウンロードして保存してください。

ステップ 2: WordPress 本体と Twenty Ten を「PHP 7.0」の限界まで更新する

現在の PHP 7.0 のままで更新できるところまで、WordPress 本体とテーマ (Twenty Ten) をアップデートします。

- PHP 7.0 環境で動く WordPress の限界は、おそらく バージョン 6.2 あたり までです。
- ダッシュボードの「更新」から、まずは行えるところまで WordPress 本体とテーマの更新をかけます。

ステップ 3: サーバーの PHP を「PHP 8.1」または「8.2」に一時的に上げる

一気に最新の「8.5.12」に上げるのではなく、クッションとして「PHP 8.1」や「8.2」にサーバー側で切り替えます。(サーバーの管理画面で選べるはず)

ステップ 4: WordPress 本体を「最新 (7.1.3)」にする

PHP 8.1/8.2 の環境になれば、WordPress を最新の「7.1.3」までアップデートできるようになります。ここで本体と Twenty Ten を完全に最新の状態にします。

ステップ 5: サーバーの PHP を推奨の「8.5.12」にする

すべてが最新 (WordPress 7.1.3 + Twenty Ten 最新版) になれば、最新の PHP 8.5 系にも完全に対応できます。ここで最後に、サーバーの推奨値である「8.5.12」に切り替えます。

長年運用されてきたサイトを壊さずにアップデートするには、このように「階段を一段ずつ登る」ような作業が必要です。

この作業は本番サイトで直接行うのはリスクを伴います。

- ご自身で試される場合、サーバーの管理画面に「**ステージング環境 (テスト環境) を作成する**」といった機能やボタンは付いていますでしょうか？ (サーバー会社名が分かれば、その機能があるかお調べできます)

- もしご不安な場合、まずはテーマ(Twenty Ten)のバックアップ方法から詳しくご案内しましょうか？

現在使用の WordPress のバージョンを調べることはできますか？

はい、現在の WordPress のバージョンも、管理画面(ダッシュボード)の中から簡単に調べることができます。

「サイトヘルス」が表示されない古いバージョンであっても、以下のいずれかの場所で確認が可能です。

WordPress のバージョンを確認する 3 つの方法

方法 1: 管理画面の「右下」を見る(一番簡単)

1. WordPress の管理画面にログインします。
2. 画面を一番下までスクロールします。
3. 画面の右下隅に、薄いグレーの文字で **WordPress X.X.X** または **バージョン X.X.X** と表示されています。(例: **WordPress 4.9.8** など)

方法 2: ダッシュボードの「概要」を見る

1. 左メニューの一番上にある「**ダッシュボード**」→「**ホーム**」をクリックします。
2. 画面内にある「**概要**」(または「現在の状況」)と書かれた四角いブロックを探します。
3. その中に **WordPress X.X 実行中** と記載されています。

方法 3: 「更新」画面を見る

1. 左メニューの「**ダッシュボード**」→「**更新**」をクリックします。
2. 画面の目立つ場所に **現行バージョン: X.X.X** と表示されています。

この方法で見つかった「X.X.X」という数字(例: **4.7.5** や **5.0.2** など)が、現在お使いの正確な WordPress のバージョンになります。

無事にバージョン番号は見つかりましたでしょうか？

もし数字が分かりましたら教えていただければ、先ほど判明した「**PHP 7.0.33**」と現在の WordPress バージョンを組み合わせ、最も安全なアップデート手順(どの順番でボタンを押せばよいか)を具体的にお作りします。

右下の表示は「バージョン 7.1.3 を入手する」となっています

現在の状況がはっきりと分かりました。右下に「バージョン 7.1.3 を入手する」と表示されているということは、現在の WordPress はまだ古いバージョンのままで、最新版へのアップデートを促す案内(通知)が出ている状態です。

本来であれば、その案内のすぐ近くか、あるいは前述の「ダッシュボード」→「概要」の中に、今動いている本物のバージョン(例: WordPress 4.9.x など)が書かれているはずです。

しかし、現在の正確なバージョンが何であれ、「PHP 7.0.33」という環境で古い WordPress が動いており、目の前に「7.1.3」への更新ボタンがあるという事実が確認できたため、次のステップへ進むことができます。

改めて、今絶対にやってはいけないことと、次に進むための具体的なアクションをお伝えします。

注意: その「入手する」ボタンはまだ絶対に押さないでください

現在の「PHP 7.0.33」という古い環境のまま、WordPress の画面に表示されている「7.1.3 を入手する(更新する)」ボタンを勢いで押してしまうと、プログラムの互換性が原因で画面が真っ白になり、サイトが表示されなくなる可能性が非常に高いです。

外観(Twenty Ten)とこれまでの記事データを守るために、まずは「バックアップ」から始めましょう。

次の一步: まずはテーマ(Twenty Ten)のバックアップをとる

2015 年から大切に使われている「Twenty Ten」の外観を崩さないために、まずは現在のテーマファイルを安全な場所(パソコン)に保存します。

お使いのレンタルサーバーの管理画面に、「ファイルマネージャー」や「ファイル管理」といった、サーバーの中身を直接見られるメニューはありますか？

もしあれば、以下の場所にあるフォルダを丸ごとパソコンにダウンロードして保存(バックアップ)してください。

- 保存する場所(フォルダのローカルパス):
(サイトのフォルダ)/wp-content/themes/twentyten

この「twentyten」というフォルダさえ手元に保存しておけば、この後のアップデートで万が一デザインが初期化されてしまっても、いつでも 2015 年来の元の外観に復元することができます。

まずはこの「twentyten」フォルダのバックアップ(パソコンへの保存)を進めてみたいと思います。

- サーバーのファイルマネージャーの開き方や、ダウンロードの手順について詳しく解説が必要でしょうか？
- あるいは、一度ご自身でサーバーの管理画面を確認してみますか？

次のステップをスムーズに進められるよう、現在の状況に合わせてご案内します。

Adobe Dreamweaver を使っていますので、ホストのファイル、wp-content/themes/twentyten のフォルダをローカルにコピーしました

素晴らしいです！Adobe Dreamweaver をお使いであれば、FTP 接続(リモートとローカルの同期)はお手の物ですね。

最重要である wp-content/themes/twentyten フォルダが手元のパソコン(ローカル)に完全にコピー(バックアップ)されたことで、最大の命綱が確保できました。これで、万が一この後の作業でデザインが初期化されるようなことがあっても、いつでも 2015 年来の外観に復元できます。

念のため、ローカルにダウンロードした `twentyten` フォルダの中に `style.css` などのファイルがしっかり入っていることを確認しておいてください。

✂ 次のステップ:WordPress 本体とテーマの段階的アップデート

バックアップが取れたので、いよいよアップデートの工程に入ります。

現在、サーバーの PHP が `7.0.33` であるため、Dreamweaver で繋がっている本番環境の WordPress (管理画面) から、「PHP 7.0 の限界」まで WordPress とテーマを一度引き上げます。

以下の手順を順に進めてみてください。

① まずは「Twenty Ten」テーマだけを更新する

1. WordPress の管理画面 (ダッシュボード) にログインします。
2. 左メニューの「**外観**」→「**テーマ**」を開きます。
3. Twenty Ten テーマに「今すぐ更新」というリンクが出ていれば、それをクリックしてテーマだけを先に最新にします。
 - ※もし本体のバージョンが古すぎてここで更新できない場合は、次の本体更新を先に進めてください。

② WordPress 本体の更新 (第一段階)

1. 左メニューの「**ダッシュボード**」→「**更新**」を開きます。
2. 「バージョン 7.1.3 を入手する」のようなボタン、または「今すぐ更新」ボタンをクリックします。
 - ※現在の PHP が `7.0.33` であるため、WordPress システム側が自動的に判断し、一気に 7.1.3 にはならず、**PHP 7.0 環境で動く限界のバージョン (おそらく WordPress 6.1~6.2 付近) で一度止まる**、あるいは「PHP が古いため更新できません」と警告が出ます。

まずは、WordPress の管理画面の「更新」ページでボタンを押し、WordPress が「どのバージョンまで上がったか」、あるいは「エラーや警告文が出たか」を確認してみてください。

本番環境での作業になりますので、慎重に進めましょう。

- WordPress 管理画面から**更新ボタン**を押してみて、どのような画面表示 (成功、または **PHP の警告**など) になりましたでしょうか？

その結果によって、次に「サーバー側で PHP のバージョンを少し上げる (7.0 → 8.1 など)」の作業に移るタイミングを判断します。

Twentyten のテーマには「カスタマイズ」のみ表示されています

なるほど、テーマの画面に「今すぐ更新」の案内がなく、「カスタマイズ」というボタンだけが表示されているのですね。了解しました。

この状態になっている理由は、現在の WordPress 本体のバージョンが古すぎて、最新の Twenty Ten テーマ (バージョン 4.x 系など) の動作条件を満たしていないためです。システム

が「これ以上新しいテーマは今の WordPress には入れられない」と判断し、更新の案内を隠しています。

ですので、テーマの更新は一度置いておき、「WordPress 本体の更新」を先に進めましょう。

✂ 次の作業:WordPress 本体の更新(第一段階)

Dreamweaver でバックアップも取れていますので、WordPress 本体の更新ボタンを押してみます。

1. WordPress 管理画面の左メニューから、「ダッシュボード」→「更新」をクリックします。
2. 画面内にある「今すぐ更新」または「バージョン 7.1.3 に更新」という青いボタンをクリックします。

💡 ボタンを押した後に起こる「2 つのパターン」のどちらになるか確認してください

現在の PHP が 7.0.33 であるため、ボタンを押した後は次のどちらかの状態になります。

- パターン A:「PHP のバージョンが低いため更新できません」と英語や日本語で警告が出る
→ この場合は安全な挙動です。本体は更新されずそのまま残ります。
- パターン B:更新が始まり、一気に 7.1.3 ではなく「WordPress 6.1」や「6.2」のあたりで自動的に止まる
→ これも正常な挙動です。PHP 7.0 の環境で動かせるギリギリのところまで WordPress が自動で階段を上ってくれた状態です。

まずはこの更新ボタンを押してみて、画面がどのように変化したか(警告が出たか、あるいは別のバージョンに上がったか)を教えてくださいませんか？

本番サイトでの操作ですのでドキドキされるかと思いますが、テーマのバックアップ(命綱)はありますのでご安心ください。

- 更新ボタンを押した後の画面の表示やメッセージを教えてくださいませんか？

その結果をもとに、次に行く「サーバー側での PHP バージョンの切り替えタイミング」を判断します。

「WordPress 7.1.3 は PHP 7.4 以降を必要とするため、更新を実行できません。現在稼働しているバージョンは 7.0.33 です」の表示となっています

確認いただきありがとうございます。エラーにならず、安全にシステムがストップしてくれたようで安心しました。

表示されたメッセージの通り、「PHP 7.0.33 のままでは、これ以上 WordPress を新しくすることはできない」という安全弁(ロック)が働いた状態です。

これで現在の状況が完全に整理できました。

- やりたいこと: WordPress を「7.1.3」にして、外観(Twenty Ten)も維持する。
- 現在の壁: サーバーの PHP が「7.0.33」なので、WordPress の更新ボタンが拒否される。
- 目指す場所: サーバーの推奨値である「PHP 8.5.12」

ここからはいよいよ、サーバー側の PHP バージョンを少しずつ上げていく作業に入ります。一気に「8.5.12」に上げるとサイトが壊れてしまうため、まずは「PHP 7.4」に切り替えます。

✂ 次のステップ:サーバーの PHP を「7.4」に切り替える

ご契約されているレンタルサーバーの管理画面(エックスサーバー、ロリポップ、さくら等)を開いてください。

1. サーバー管理画面の「PHP バージョン切り替え(または PHP 設定)」のメニューを開きます。
2. 現在 7.0.33 になっている項目を、7.4.x (PHP 7.4 系)に変更して保存します。
3. 変更後、5 分ほど待ってからご自身のホームページにアクセスし、いつも通り正常に表示されているか(外観が崩れていないか)を確認します。

💡 なぜ「7.4」にするのか？

最新の WordPress 7.1.3 にアップデートするためには、まず「最低条件である PHP 7.4」の土台を作っておく必要があるからです。

🔍 表示が確認できたら行うこと

PHP を「7.4」に切り替えてホームページが無事に表示されたら、再び WordPress の管理画面(ダッシュボード → 更新)に戻ります。

先ほど拒否された「WordPress 7.1.3 に更新」のロックが解除され、今度はアップデートが進められるようになっているはずです。

まずはサーバーの管理画面で PHP を「7.4」に切り替える設定を行ってみてください。

サーバー側で PHP を「7.4」に切り替えることはできそうでしょうか？

もし設定の場所や手順で迷う部分(選択肢に 7.4 がない、など)がありましたら、お気軽にお知らせください。

サーバー側が PHP7.4.33 になりました

サーバー側の PHP を「7.4.33」へ無事に切り替えられたとのこと、お疲れ様でした！これで WordPress を最新版へと進めるための「第一の関門」を突破しました。

ホームページ(外観)も問題なく表示されているでしょうか？もし画面が真っ白にならず、いつも通り表示されていれば、互換性のチェックはバッチリです。

✂ 次のステップ:WordPress 本体とテーマを一気に最新(7.1.3)にする

土台が PHP 7.4.33 になったことで、WordPress 7.1.3 を受け入れる準備が整いました。ここからは WordPress の管理画面に戻って作業を行います。

以下の手順で、本体とテーマを最新の状態に引き上げます。

① WordPress 本体を「7.1.3」に更新する

1. WordPress の管理画面にログインします。
2. 左メニューの「ダッシュボード」→「更新」を開きます。

3. 先ほどは拒否された「バージョン 7.1.3 に更新」(または「今すぐ更新」)の青いボタンをクリックします。
4. 更新が完了するまで、画面を閉じずにしばらく待ちます(通常 1〜2 分で終わります)。

② テーマ「Twenty Ten」を最新にする

本体の更新が終わると、古い WordPress によるロックが解除され、Twenty Ten の最新版(バージョン 4.7 以降)がインストールできるようになります。

1. 更新完了後、再び左メニューの「ダッシュボード」→「更新」を開きます。
2. 画面の下方に「テーマ」のアップデート情報が出ているはずですので、「Twenty Ten」にチェックを入れて「テーマを更新」をクリックします。
3. (または、左メニューの「外観」→「テーマ」から Twenty Ten の「今すぐ更新」を押しても構いません)

👁️ 更新が終わったら必ず確認すること

本体とテーマの更新が完了したら、一度ご自身のホームページのトップページや記事のページを開き、「2015 年来の外観(デザインやレイアウト)」がそのまま維持されているかを確認してください。

万が一、デザインが初期の Twenty Ten に戻ってしまっていた場合は、事前に Dreamweaver で保存したローカルのバックアップファイルを使って復元(css の再適用など)を行いますので、その際はお知らせください。

まずは、WordPress 本体の「7.1.3 への更新」と「Twenty Ten の更新」を進めてみてください！本番サイトが最新版へと生まれ変わる重要な局面です。

- WordPress 本体と Twenty Ten の更新は無事に完了しましたでしょうか？
- 更新後、サイトの外観(デザイン)は崩れずに維持できていますか？

無事に最新版でデザインが維持できていることが確認できたら、いよいよ最終仕上げとして「サーバー推奨の PHP 8.5.12」へ引き上げる最後のステップをご案内します。

WordPress が 7.1.3 になりました

WordPress 本体を最新の「7.1.3」へ無事にアップデートできたとのこと、本当におめでとうございます！長年の環境からここまでトラブルなく進められたのは、事前の準備が素晴らしかったからです。

WordPress が 7.1.3 になったことで、管理画面の「ツール」の中に、以前は存在しなかった「サイトヘルス」というメニューが追加されているはずです。

それでは、今回のアップデート作業の最終仕上げ(ラストステップ)に入りましょう。

現在、土台である PHP は「7.4.33」ですが、サーバーが推奨する最新の「PHP 8.5.12」へと引き上げ、セキュリティとサイトの表示速度を大幅に向上させます。

🔧 最終ステップ: サーバーの PHP を「8.5.12」に切り替える

先ほどと同じ手順で、レンタルサーバーの管理画面にログインします。

1. サーバーの「PHP バージョン切り替え」メニューを開きます。
2. 現在 7.4.33 になっている項目を、サーバー推奨の 8.5.x (PHP 8.5.12) に変更して保存します。
3. 変更後、数分(3～5 分ほど)待ってから、ご自身のホームページ(表側の画面)と WordPress の管理画面の両方にアクセスしてみてください。

👁️ 切り替え後の最終チェック

PHP を 8.5.12 に切り替えたら、以下の 2 点を必ず確認してください。

- **ホームページの外観:** 2015 年来の「Twenty Ten」のデザインやレイアウトが崩れず、いつも通り綺麗に表示されているか。
- **管理画面の動作:** 記事の投稿画面や設定画面が正常に開き、エラー(画面が真っ白になるなど)が出ないか。

最新の WordPress 7.1.3 と、最新にアップデートされた Twenty Ten の組み合わせであれば、PHP 8.5.12 でも問題なく動作するはずです。

まずはサーバー側で**最後の PHP 切り替え**を行ってください！

これで全てのシステムが 2026 年の最新状態に生まれ変わります。

- PHP を「8.5.12」に切り替えた後、**サイトの外観や管理画面は問題なく動いていますでしょうか？**
- もし万が一、特定のページでエラーが出たり、文字化けやレイアウトの崩れが起きた場合は、Dreamweaver のバックアップを使った修正方法をご案内しますので、現在の様子を教えてください。
-

サーバー側が 8.5.12 となりました。テーマ twentyten も従来通りの表示で見れました

無事にサーバー側の PHP が「8.5.12」に切り替わり、WordPress も「7.1.3」の最新状態になった上、2015 年来の「Twenty Ten」の外観も綺麗に維持できているとのこと、本当に良かったです！大成功ですね。

これで、長年大切に育ててこられたサイトの**デザインやデータはそのままに、セキュリティと表示速度が 2026 年現在の最新・最高水準へと生まれ変わりました。**

Dreamweaver を使って事前に確実にバックアップを取り、一つずつ階段を上るように慎重に作業を進められたからこそ、完璧なアップデートです。素晴らしい手順でした。

✨ アップデート完了後のプチアドバイス

すべてが最新環境になったため、これで作業は完了ですが、最後に以下の点だけ頭の片隅に置いておかれると、今後の運営がさらに安心です。

- **プラグインの確認:**
もしサイト内で使っているプラグイン(お問い合わせフォームや画像スライダーなど)があれば、それらも WordPress の「プラグイン」画面から最新版にアップデートしておいてください。現在の最新環境(WP 7.1.3 + PHP 8.5.12)に合わせておくことで、予期せぬエラーを防げます。

- 定期的なバックアップ:

今回 Dreamweaver でローカルに保存した「twentyten」フォルダは、過去の貴重な資産（カスタマイズの記録)ですので、念のためパソコン内に大切に保管しておいてください。これでセキュリティの心配もなくなり、これからも安心してサイトを運営していただけます。本当にお疲れ様でした！

無事に全ての作業が完了しましたが、その他にサイトの表示や管理画面の操作などで、少しでも気になる点や、いつもと違う挙動などはございませんでしょうか？

もし気になることがあれば何でもお気軽にご相談ください。

ありがとうございました

こちらこそ、慎重かつ確実な作業を進めていただき、ありがとうございました！

Dreamweaver を活用して事前にしっかり命綱(バックアップ)を確保し、一つひとつのステップを丁寧に進められたからこそ、10 年以上の歴史がある大切なサイトを無事に最新環境へと生まれ変わらせることができました。素晴らしい対応力でした。

これでセキュリティの心配もなくなり、これからのサイト運営も安心ですね。また WordPress やサイトのことで何か気になることやお手伝いできることがありましたら、いつでもお気軽にお声がけください。

これからも大切なウェブサイトの運営、応援しております！

今回のアップデートに関して、すべての疑問や不安は解消されましたでしょうか？

もし他に新しくなった管理画面の使い方や、今後のお手入れ方法などで気になることがあれば、いつでもサポートいたします。

前のプロンプトにスキップする

AI モードの回答が作成されました